

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、このように盛大な入学式を挙行できますことを厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様には、本日、お子様の御入学の姿を間近にご覧になって、お喜びもひとしおであろうと拝察いたします。

先ほど、入学を許可いたしました、320名の生徒の皆さんを確かにお預かりいたしました。本校の教職員を代表いたしまして、私どもの持てる力を最大限に発揮し、指導に当たりますことをお約束いたします。

新入生の皆さんは、これまで育ててくださった保護者の皆さまに感謝の気持ちを持って、これからの高校生活を始めてください。

さて、今日は新入生の皆さんに2つ、お願いがあります。

まず1つ目は、「高い志を持ってください」。「高い志」というのは、「心が高い目標を目指して進んで行くこと」です。今、皆さんには「目標」はありますか。受験勉強が終わってほっとして、目標を見失ってしまった、ということはありませんか？ 勉強のこと、部活動のこと、将来なりたい職業など、何でも結構です。その、目標を高く持ち、それに向かって進んで行く。つまり、「高い志を持つ」ということです。

私は、大リーグで活躍しているイチローさん、大好きです。オリックスで活躍しているときは、あまり知らなかったのですが、アメリカへ渡ってからのイチローはあまりにも有名です。大リーガーとしては、2001年にシアトル・マリナーズからスタートし、ニューヨーク・ヤンキーズ、マイアミ・マーリンズ、そしてアメリカへ渡ってから17年経った、今春、再びシアトル・マリナーズに戻りました。その間には、メジャーリーグ・ベースボール（MLB）、シーズン最多安打記録保持者、プロ野球における通算安打世界記録保持者としてギネスにも認定されています。そのイチローは、今44歳です。髪に白いものが半分ほど混ざっています。そのイチローが、ともすれば、自分の子どもと同じくらいの年齢になっていてもおかしくない若者と混ざって現役を続けている。今も「高い志」を持ち続けていることに私はすごいことだなと思っています。

サッカーが好きな生徒からは、「三浦和良だっているよ」と聞こえてきそうですね。三浦知良も現在51歳。二人とも、自分と契約をしてくれるところがあればどこへでも行く。技術、精神力、情熱、くやしき。そういうものを持続させて、プライドを捨てて、「高い志」のために、ただひたむきになれる姿は、是非、真似したいものです。

2つ目のお願いは「自分を大切にしてください」。ということです。皆さんはかけがえのない命を与えられ、この世に生まれました。高い志を持つ中で、かけがえのない自分の存在に気付いてください。「かけがえのない自分」というのは、自分は世界の中でただ一人の自分であり、他の誰にも、あるいは何にも換えることはできない存在である、ということです。かけがえのない自分であることに気付くと、自分の心を大切にしようという気持ちが起るはずで（間）

自分を大切に出来る人は、あなたの隣の人もかけがえのない存在であることに気が付き、その人の心も大切に思えるようになります。自分を大切にし、他の人も大切に。そういう人になってほしいと思います。

皆さんは新しい大学入試制度の1年目にあたる生徒です。すでに中学校や、塾でも、本校でも学校説明会の折に話をしてきました。

今、皆さんの中には、高校入試に合格した自信と、一方で新制度の1年目という、先の見えない不安な気持ちの、両方を持って、入学してきていると思います。

ご存じのように、新しい大学入試制度は、これまでのような知識の詰め込みだけでなく、考える力を養い、それをどう応用していくか、どう伝えるかが重視されてきます。

普通の学校生活で、どのように過ごしたか。困難が生じたとき、どのように乗り越えたかという、来し方過ごし方も求められます。一般入試でも、調査書の内容が問われる時代です。外国語も外部試験が導入されます。

そのためには、コミュニケーション能力が求められています。チームで企画・立案し、チームでその企画を作り上げていく。温かな心を持ち、人間関係を大切に。そして、視野の広い知識に基づく、適切な判断力が求められます。

それらの力は、教科の学習だけでなく、体育祭、文化祭などの学校行事、生徒会活動・委員会活動や、もちろん加入率の高い、部活動などで養うことができます。自分たちで作りに上げていく体験をする中で、思考・判断・表現力を養うと、自信につながるはずで。高い志を持って、色々なことに挑戦してください。

さて、今日は新入生の皆さんに2つのお願いをしました。（間）1つ目は「高い志を持ってください。」、2つ目は、「自分をそして隣の人を大切にしてください。」ということでした。

皆さんの前には未来に向かって可能性がいっぱい広がっています。皆さんのこれから3年間の学校生活の中で、今日の2つのお願いが実現できているか、またいつか聞いてみたいと思います。

保護者の皆様と私たち教職員は、今日から、子どもたちを「指導し、育てていく」という同じ目標に取り組むことになりました。共に育てることの基本は、学校と家庭の相互の理解と信頼にあると考えます。私たち教職員は、力を尽くし、一人一人を大切に、きめ細かく指導して参ります。保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に対するご理解とご協力を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

以上を持ちまして、学校長式辞といたします。

平成30年4月7日

東京都立松が谷高等学校長 原 忍